

いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷KK

No. 48

中学校第3期工事に着手

昭和41年度に予定されている中学の坪数は240坪で教務室・音楽室・理科室・美術室・図書室・渡り廊下・玄関等が含まれます。これらの工事を早急に完了し、体育館の建築に着手するため、償劣負担行為という名目で県の許可を得て2月下旬から工事に着手しました。
完了は7月下旬でこの工事が完成すると技術室(木造)を残し、校舎関係は全部完成することになります。
工事の負請業者は工事の関係上、株式会社横山組と1,975万円にて契約いたしました。



温泉集中加熱竣工

昨年10月着工した温泉集中加熱事業も関係者各位のご協力により、3月11日午前10時岩室小学校西校舎に於て竣工祝賀会を開催、知事代理、県商工労働部長、高橋、小沢両代議士、国鉄新潟支社を始め、村内外から170名の来賓を迎えて盛大に行なわれ、13日までの3日間は温泉まつりとし、銘石展、地元の民謡と歌、鉄道関係の団体旅行と盛りたくさんな行事が行なわれた。新潟の湧出で、はださわりも一段とよく、県下で始めての事業として、早くも遠くから視察に来村されるなど、村発展に役立つことと喜んでいる。(写真は竣工のよろこびを述べる佐藤村長)

さてご承知のように、今年度地方財政は苦しくなり、予算編成には極めて困難を生じていることは、年々繰返して申して来たところでもあります。その苦しい中にも幸い年度途中を経過する頃に至りますと、財政状態が当初の予定よりも好転、つまり地方交付税増が生じる、或いは繰越金

昭和四十年度も慌しいうちに過ぎ去りましたが、この一年間における村の行財政の運営は、果してどうであったであろうかとふりかえて見ると、幸い四十年度はさしたる災害もなく、また執行面においても予定されたものはことごとく実施し、しかも健全財政のうちにもどうやら年度を終了出来得ましたことを心から嬉しく思うものであります。これも偏に村民各位の深いご理解とご協力の賜と、衷心より感謝いたして居ります。



41年度予算編成にあたって

岩室村長 佐藤賢之輔

がより以上に余剰を生ずるといった具合で、年度末頃には相当大巾な追加補正を行ない、出来得る限りの住民サービスに応えて来たというのが今日迄の実情であったわけでありませう。

従ってこれ等のことはやはり結果的に見るならば、特殊な大事業の実施がなかったからだと言え得ると思ふのであります。何分にもご承知の如く、去る三十九年度より中学校の統合校舎の建築に着手いたしました。これを投入して居ります関係から、村の財源は極度に苦しんで来て居るのであります。

従って四十一年度の予算編成にあたっては、極力庁内消費部間の経費節減は勿論のこと、三役、議員及び各種委員の報酬手当等は一切据置とし、なおその上特大な補助金関係を除いては従来の半額に削減、専ら事業投資の面に重点をおき、四十一年度の予算を編成いたしました次第であります。しかもその事業投資としては、中学校の継続工事、道尿処理場の建設負担金、道路特設舗装事業負担金、そ

れに新規事業としては和納保育所の建築、ハンドグレイダーの購入等がそれでありませう。以上が一般会計について予算編成の内容であります。なお特別会計としては国保、農業共済、水道、温泉集中加熱事業会計とそれぞれありますが、これ等の会計については、特に内容的に変わって居ることもないの

以上述べた難題であることと、一般会計においては、誠に悲観的な印象をあたえるようなことになりましたが、これも学校統合という大きな事業を実施しているためであって、この事業が完了するならばまた明るい見通しも出て来ることを信じています。どうか今後とも格別なご協力をお願いいたしまして予算編成における所感の一端といたします。